

令和2年度事業報告書

公益財団法人いばらき腎臓財団

公1. 臓器移植の推進に関する事業

1. 臓器移植普及啓発

①茨城県腎臓病患者連絡協議会、市町村と連携したPR

例年、県内で開催される健康イベントや出前講演会の参加者2,000人超に臓器提供意思表示カード等の配布や講話を行っているが、今年度はコロナ禍によりイベントおよび講演会は未開催であった。そのため、いのちの学習会を受講した児童生徒を介して、その保護者約1,500名に資料等を配布した。

②県内の各種研修会等の後援、協賛

例年、県北地区腎不全腎移植研究会等の後援を行っているが、コロナ禍により未開催。

2. 臓器提供者家族への支援

令和3年2月21日、公認心理師等を対象とした臓器提供者家族支援研修会をオンラインで実施し13人が受講した。カリキュラムは以下の通り。

	時間	カリキュラム	講師
1	9:25~9:40	臓器提供者家族支援事業の展望	山縣 邦弘 公益財団法人いばらき腎臓財団 理事長 筑波大学 腎臓内科学 教授
2	9:45~10:45	臓器提供の実際 ～救急現場から～	井上 貴昭 筑波大学 救急・集中治療医学 教授
3	10:45~10:50	茨城県の取り組み	事務局
4	11:00~12:00	臓器提供家族支援の事例	平井 理心 筑波大学附属病院 臨床心理士 院内臓器移植コーディネーター
5	12:45~13:30	ディスカッション	ファシリテーター石橋 直子 筑波メディカルセンター病院

3. 臓器移植推進

①茨城県主催院内コーディネーター研修会共催

茨城県と連携し、以下の研修会を共催した。

	実施日	催事名	参加数
1	9月2日	第1回臓器提供施設等担当者研修会	29人
2	12月6日	第2回臓器提供施設等担当者研修会	16人
3	1月13日	第3回1日目臓器提供施設等担当者研修会	14人
4	1月27日	第3回2日目臓器提供施設等担当者研修会	17人

②医療機関を対象とした臓器移植に関する実態調査の実施

筑波大学附属病院が主催する臓器提供・移植支援委員会の臓器提供活性化法検討ワーキンググループに参画し、県内提供施設における実態を調査した。体制整備状況については19施設に調査票を配布し13施設から回答を得た。職員意識は5施設を対象に調査を行い、2施設から回答を得た。

調査に先立ち、茨城県保健福祉部長を訪問し、保健福祉部長名で調査を実施し、調査票送付や回収、集計は当財団が実施することを合意した。

	実施日	実施内容
1	6月～	筑波大学附属病院とのワーキンググループ活動
2	7月1日	茨城県保健福祉部長との面談
3	8月25日	保健福祉部との打ち合わせ
4	1月～	調査実施

4. 茨城県の未来を担う子供たちへのいのちの学習会

県内小・中・高等学校に講師派遣し、いのちの大切さや臓器移植について児童・生徒・保護者等 1,532 人に伝えた。

実施回数は、直近年度において 30 回前後で推移しているが、コロナ禍の影響で学校からの依頼件数の減少が見込まれた。そのため、今後の安定的な実施回数を維持することを目的とし、学校のニーズを探るために教員を対象としたヒヤリング調査を 9 月に行った。加えて、中学校と高校から、教育委員会が学校に対して実施している健康安全や道徳に関する調査票を入手した。また、高校の道徳授業の公開授業を参観し（9 月牛久高校）、通常の道徳授業といのちの学習会の比較を通じて、いのちの学習会の強みを探った。

ヒヤリング調査は、中学校教員 1 名、小学校教員 4 名、高校教員 3 名に行った。その結果、教育委員会からの調査対象となっている講演会は、多くの学校が開催すると予想された。また、過去に同校での開催実績があることや、教員の個人的なつながりのある講師がいる場合、継続的に開催しやすいことが推測された。養護教諭は他の教員に比べ、比較的時間的なゆとりがあると思われ、保健教育に熱心なことから、いのちの学習会開催窓口として適任ではないかと思われた。専門職の話を聞ける機会を児童生徒に提供できることがいのちの学習会の最大の強みであると思われた。

	実施日	対象	開催場所	人数	講師
1	11 月 27 日	6 年生	神栖市大野原小学校	73	中野潤子・福田佳奈子 いばらき腎臓財団
2	1 月 14 日	5, 6 年生	つくば市柳橋小学校	52	中野潤子・福田佳奈子 いばらき腎臓財団
3	1 月 15 日	2 年生	潮来市潮来小学校	38	山縣香織 つくば国際大学
4	3 月 5 日	6 年生	水戸市堀原小学校	52	山縣香織 つくば国際大学
5		5 年生		38	
6	10 月 31 日	医療進学希望者	土浦第一高等学校	32	高橋一広 筑波大学臓器移植外科
7	11 月 2 日	1 年生	石岡商業高校	97	高橋一広 筑波大学臓器移植外科
8	11 月 18 日	1, 2 年生	智学館中等	52	平井理心 筑波大学附属病院内 Co.
9	11 月 28 日	医療進学希望者	古河中等	44	高橋一広 筑波大学臓器移植外科
10	12 月 5 日	医療進学希望者	水戸葵陵高等学校	72	高橋一広 筑波大学臓器移植外科
11	12 月 9 日	1 年生	常磐大学高等学校	389	神達宏美 レシピエント家族
12	12 月 17 日	1, 2 年生	下妻第一高等学校	560	高橋一広 筑波大学臓器移植外科
13	2 月 12 日	医療進学希望者	日立第一高等学校	33	高橋一広 筑波大学臓器移植外科

5. 組織適合検査費用の助成

1 人当たり 15,000 円を 29 人に対して助成した。

	対象	人数
1	筑波大学附属病院	26 人
2	自治医科大学	2 人
3	虎ノ門病院	1 人

公 2. 慢性腎臓病予防に関する事業

1. 慢性腎臓病予防の推進

①企業及び団体を対象とした慢性腎臓病予防の出前講演会
コロナ禍により派遣中止。

次年度以降の依頼件数維持を目的として、県内市町村の食生活改善推進委員担当窓口 40 か所に、広報紙 CKD 特集号を出前講演会の案内とともに郵送した。

②医師会等と連携した普及啓発

例年実施している講演会はコロナ禍により中止

2. 各地域健康イベントの後援、協賛

例年実施している講演会はコロナ禍により中止。

つくば市健康マイレージ事業に協賛し、市民の健康活動を支援し慢性腎臓病予防に寄与する目的で体重体組成計と歩数計をあわせて 20 個を提供した。

その他

1. 広報紙の発行

2020 年 12 月いのちの学習会特集号 12,000 部

2020 年 12 月いのちの学習会特集号 A4 版 2,000 部

※県内全学校 860 校に送付した。

※過去実施校の担当者からの寄稿と過去受講の児童生徒の感想等を掲載した。

2021 年 3 月 CKD 特集号 10,000 部

※県内市町村食生活改善推進委員窓口 40 か所に送付した。

2. PR 促進物の作成

名入りボールペン 2,000 本（茨城腎臓病患者連絡協議会に寄贈）

名入り横断幕 1 枚

管理部門

	日付	内容	場所
1	4 月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン寄付受領	イオン土浦店
2	5 月	第 1 回理事会開催	Zoom による Web 開催
3	5 月	第 1 回評議員会開催（書面決議）	
4	7 月	第 2 回理事会開催（書面決議）	
5	7 月	第 2 回評議員会開催（書面決議）	
6	9 月	第 3 回理事会開催（書面決議）	
7	9 月	第 3 回評議員会開催（書面決議）	
8	10 月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン寄付受領	イオン土浦店
9	3 月	第 4 回理事会開催	Zoom による Web 開催
10	3 月	第 4 回評議員会開催（書面決議）	

以上